

(事業計画書様式1)

1 概要

公園名	児童遊園地（教養施設を除く。）、こども植物園
所在地	【横浜市こども植物園】南区六ツ川 3-122 【横浜市児童遊園地】保土ヶ谷区狩場町 213
公園面積、公園種別	【横浜市こども植物園】約 3ha、植物園 (博物館類似施設、都市緑化植物園) 【横浜市児童遊園地】約 8ha、風致公園
主な施設	【横浜市こども植物園】 花壇・バラ園、果物園、野草園、花木園、生垣園、温室、展示研修館 【横浜市児童遊園地】 花壇、竹林、梅園、運動広場、遊具（健康遊具、すべり台等）
特徴	【横浜市こども植物園】 昭和54年の国際児童年を記念して、(1)植物の収集・展示と緑化思想及び技術の普及啓もう(2)都市緑化植物園及び自然植物園(3)児童・生徒の教材園の機能を持つ植物園として開園した。また、博物館類似施設であり、都市緑化植物園でもある。園内には、花木や果樹、シダ、竹等多様な植物が栽培展示されている。 【横浜市児童遊園地】 学制50周年事業として、大正11年から本公園整備運動が始まり、これが由来となり整備を実施し公開された。戦後の接収により英連邦墓地として使用され、隣接地を買収して整備を再開し、昭和55年に再公開された。広域避難場所に指定されている。
公園開園日	【横浜市こども植物園】1979（昭和 54）年 6 月 23 日 【横浜市児童遊園地】1929（昭和 4）年 10 月

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 上原 啓史
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	令和2年4月1日~令和7年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成22年4月1日
他に指定管理者に指定されている公園（市内外問わず）	山手公園・元町公園・港の見える丘公園の2公園施設・山手イタリア山庭園（JV）、三ツ沢公園（JV）、岸根公園、馬場花木園、俣野公園（JV）、俣野別邸庭園、海の公園、長浜公園（JV）、富岡総合公園（JV）、野島公園、よこはま動物園、野毛山動物園・野毛山公園、金沢動物園・金沢自然公園

(事業計画書様式2)

1 公園運営の全体的な考え方

こども植物園・児童遊園地の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）の達成に向けた確実な管理運営に取り組みます。

ビジョン：「伝え育もう！花と緑と守りびと」

こども植物園・児童遊園地とは、植物を中心とした自然環境や花と緑にまつわる知識・文化などを守り、次世代に継承していく市の重要拠点と認識し管理運営の第一の使命と捉えています。

また、展示やイベント、体験プログラムなどの取組を通じて、幅広い世代に花と緑に対する興味や愛着を育み、横浜市が進める園芸博の実施に向けた機運醸成に協力し、「市域の花と緑を守り伝える人＝守りびと」へと導きたいと考えています。

2 本年度の基本的な管理運営方針

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、両公園の特性を踏まえた5つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

ミッション1 花と緑の魅力を伝える体験プログラムの展開

・小学生を対象とする「みどりの学校」や植物に親しむ体験講座など、花や緑に直接ふれあうプログラムを多数展開し、人々の花と緑に対する興味・関心や愛着を育みます。

ミッション2 貴重なコレクションの保全と植物の魅力や園芸文化の継承

・博物館類似施設として、植物コレクションの維持・継承に取り組むとともに、幅広い世代が植物の魅力や園芸文化について楽しく学べる企画と展開します。

ミッション3 都市緑化植物園の機能発揮による市域の緑化推進人材の育成支援

・市内唯一の都市緑化植物園として、横浜市域の緑化活動に取り組む人々を育成支援します。

ミッション4 多様な生きものが生息する豊かな自然環境の整備

・多様な生きものが暮らす自然環境を整備するとともに、里山の美しい景観を保全・管理します。

ミッション5 地域防災力の強化

・地域との協働による防災訓練や体制づくりを通じて、地域の防災力の強化に貢献します。

3 運營業務の実施方針

私たちが掲げる上記ミッションについて、実施方針を次のとおりとします。

ミッション1 花と緑の魅力を伝える体験プログラムの展開

- ・植物の面白さや驚きを子どもが体験する機会の提供
- ・多様なボランティア活動の支援による緑の人材育成
- ・近隣施設や各種園芸団体との協働による緑の普及啓発
- ・ガーデンネックレス横浜をはじめとする、みどりアップ計画への参加

ミッション2 貴重なコレクションの保全と植物の魅力や園芸文化の継承

- ・植物の不思議や面白さを伝える企画展の開催
- ・サクラソウの展示方法やキクの栽培技術など、伝統園芸植物や園芸文化の継承
- ・カキやハナショウブなどの植物コレクションの維持管理

ミッション3 都市緑化植物園の機能発揮による市域の緑化推進人材の育成支援

- ・緑の相談所の運営、出張講座・出張相談の充実
- ・緑化植物園見本園における新たな魅力づくり
- ・緑の推進団体、緑の推進リーダーの育成支援

ミッション4 多様な生きものが生息する豊かな自然環境の整備

- ・「いきものサンクチュアリ」など、多様な生きものが暮らす環境づくり
- ・横浜の里山を代表する植物であるヤマユリの増殖

ミッション5 地域防災力の強化

- ・地域の協働による防災キャンプの開催
- ・防災マップの配布

4 人員・組織体制

(1) 組織体制

園長の統括のもと、緑のスペシャリスト、園地・清掃スタッフ、運営スタッフを配置し、こども植物園・児童遊園地それぞれの特性を踏まえつつ、両公園を一体管理できる管理運営体制とします。

(2) 人員配置

園長（施設長）は公園管理の統括を行い、副園長（副施設長）は園長補佐および園長不在時の統括代行を行い、現場を適切にマネジメントします。園長は防災士、副園長は上級救命講習、スタッフは普通救命講習を修了します。緑のスペシャリストは、植物の知識や管理経験のある人材を配置し、質の高い植物展示・栽培管理を行うとともに、緑の相談員として市民の相談に応えます。

(3) 人材育成

「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。研修は、植物栽培管理に関する研修、利用者対応・管理運営に関する研修、園地管理に関する研修、園長・副園長のマネジメント力向上のための研修（管理職研修）を実施します。目標管理制度、職員表彰制度により、スタッフの意欲向上を図ります。

令和2年度人員配置表

役職	人数	雇用形態	職務内容	資格・経験など	勤務日 (目安)
園長(施設長)	1名	職員(常)	公園管理統括 事業・予算管理	防災士 公園管理経験者	週 5
副園長(副施設長)	1名	職員(常)	統括補佐、園地管理、 運営業務	上級救命講習	週 5
緑のスペシャリス ト	2名	職員(常)	見本園の植物管理、 圃場での栽培管理、 緑の相談所の相談業務	植物園または植物 管理経験者 普通救命講習	週 5
	6名	パート(常)			週 4
園地スタッフ	1名	パート(リター) (常)	巡視・点検、清掃、 植栽・園地管理	刈払機、伐木業務 特別教育、普通救 命講習	週 5
	4名	パート(常)			週 4
清掃スタッフ	2名	パート(非)	施設清掃	普通救命講習	週 4
運営スタッフ	1名	職員(常)	事務・企画・広報	普通救命講習	週 5
	1名	パート(常)			週 4

※(常)は常勤、(非)は非常勤

勤務体制等

- ・6～10名の勤務体制を基本とし、大規模作業やイベント時は増員体制とします。
- ・電気主任技術者：高圧受変電設備の保安業務担当者については、委託により選任します。
- ・常勤とは、職員の1週間の所定労働時間(週 38.75 時間)の 3/4 (週 30 時間) 以上とします。

5 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

植物コレクションを活用した多様な展示・体験プログラムや、都市緑化植物園としての機能・サービスを充実させ、植物の魅力を伝えることで「守りびと」を育みます。

(2) 市民サービス向上取組の考え方

- ・利用者の満足度を把握し、業務の改善につなげるとともに、調査結果を公表します。
- ・誰もが快適に公園を利用できる「おもてなし」のサービスを提供します。
- ・公園利用者がルールを守り、快適に過ごせる園内環境づくりに取組みます。

(3) 利用促進の取組、利用者支援等の取組について

本様式を基に、提案事項を実施します。

(4) 課題に対する公園運営改善策

- 課題1 こども植物園の魅力向上し来園者を増やす取組みや、児童遊園地の一体活用及び広報活動等のプロモーションを含めた提案については、両公園の一体活用やSNSを活用したプロモーション活動により来園者増に取り組むよう改善策を実施します。
- 課題2 緑の相談所業務のよりよい管理運営方法と利用者の視点を踏まえた提案については、利用者のニーズにあわせより良い管理運営に取り組むよう改善策を実施します。
- 課題3 博物館類似施設としてのこども植物園の設置目的を踏まえた植物展示方法及び博物館類似施設の使命となる研修会や展示会、イベントの提案については、植物のもつ役割や日本の伝統文化などを利用者に伝える改善策を実施します。
- 課題4 所蔵する図書や標本の利活用とこども植物園の研修室の利用促進を視野に入れた児童遊園地との一体的な魅力向上の提案については、図書や標本の利活用により利用者の興味喚起に取り組む改善策を実施します。
- 課題5 こども植物園の著名な樹木の維持管理、児童遊園地との樹林地の一体的管理について、児童遊園地の樹林地のタイワンリスによる食害への対応、利用者への周知を含めた提案については、計画的な維持管理により著名な樹木を継承し、また樹林地は横浜の里山風景を目標とした維持管理を行います。
- 課題6 管理運営におけるボランティアとの協働について、その内容、横浜市環境活動支援センターとの連携及び期待される効果の提案については、これまで協働している公園ボランティアと今後も連携し、公園や植物の愛着醸成に寄与します。
- 課題7 夏の暑さ対策として利用者や指定管理者職員等の健康や安全に対する取組みの提案については、環境省の「熱中症対策ガイドライン」をふまえ、利用者・職員への周知や必要物品の準備をおこない、熱中症を防ぎます。
- 課題8 公園の特性や維持管理上課題等に応じた取組みの提案については、花壇や花畑を活用し、ガーデンネックレス横浜をPRする改善策を実施します。

(5) 広報・パブリシティ活用の取組み

- ・スマートフォンからのアクセスに対応したホームページ、SNSの運用により情報発信力を強化します。
- ・広報、情報発信は、ホームページ・SNS、独自の発行の広報誌、「広報よこはま」、プレスリリースや取材対応等によるパブリシティ活用、近隣地域・施設との相互PR、近隣学校へのチラシ配布、公園だより等の手段により行います。

(6) 利用者ニーズ把握の取組み

- ・ホームページの広聴システム、「あんなこんな提案箱」等によりニーズを把握し、公園管理レベルの向上に取り組めます。
- ・利用者の満足度の把握は、年1回のアンケートにより把握し、満足度向上に取り組めます。また、アンケート結果は公表します。

(事業計画書様式3)

1 公園の維持管理業務の全体的な考え方

- ・市内唯一の植物園として、貴重なコレクションや伝統的な栽培技術などを活用・伝承することを目標とします。ゾーンごとに専門知識を持った緑のスペシャリストを配置することで、高水準な管理を維持するとともに、園芸技術を伝承します。
- ・横浜の里山風景の残るまとまった緑の拠点として、豊かな生育環境とすることを目標とします。
- ・こども植物園の専門性の高いスタッフが児童遊園地のスタッフと連携することで、児童遊園地の植物自然の保全や児童遊園地をフィールドとした環境教育やイベントを実施し、一体的管理による相乗効果を発揮します。
- ・建築物や遊具などの施設は、日常・定期点検において健全度を確認し、予防保全型の計画的な修繕を行うことで施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストを縮減します。
- ・花壇や花畑をガーデンネックレス花壇として位置づけ、ガーデンネックレス横浜をPRします。

2 公園施設の維持管理について

- ・標本館：年1回の標本の燻蒸、月1回の館内清掃を実施。
- ・温室：年1回、屋根および壁面ガラスの清掃を実施。
- ・植物ラベル：植物を確認し、適切に設置・更新する。
- ・遊具：目視点検に加え、触る・揺らす・乗る・叩くによる日常点検を実施する。点検実施者は、日本公園施設業協会主催の遊具点検研修を受講し点検技術の向上を図る。市の基準に基づく日常点検、定期点検のほか、独自に月1回の定期点検を実施。
- ・管理事務所：日常点検、定期点検のほか、年1回施設管理者点検マニュアルに沿った点検をおこない、不具合が発見された場合は速やかに対応する。また、建物の状態を適宜市に報告し、指定管理者として今後の管理・改修・補修計画を提案する。
- ・水飲み・手洗い：巡視・点検時に本体・蛇口の破損や、衛生面を重視した確認を実施する。ガラスや金属片などの危険物の状況に注意し、発見時は速やかに撤去する。
- ・手すり・鉄柵・支柱：必要に応じて防錆塗装などの補修を実施する。年4回触診や打診による定期点検を実施する。

3 園地管理について

(1) 巡視・点検

- ・日常巡視、点検は、1日2回実施
- ・定期点検は、市公園施設点検マニュアル位に基づき年3回の通常点検、年1回の詳細点検を実施。また、独自に作成したチェックシートを基に月1回実施。

(2) 植栽の維持管理

■博物館類似施設として、植物コレクションを保全し、植物の役割を分かりやすく伝える展示を行います（こども植物園）

- ・ゾーンごとの特性に応じた管理を行います。
- ・ガーデンネックレス横浜のPRを行います。

■多様な生きものが息する豊かな環境を育みます（児童遊園地）

- ・いきものサンクチュアリの整備
- ・生態系に配慮した順応的管理の実施

■横浜の美しい里山景観を保全、管理します（児童遊園地）

- ・横浜の里山を代表するヤマユリの増殖
- ・サクラ更新計画との連携
- ・園地の特性を生かした季節の見どころづくり

4 事故防止の取組、過去に発生した事故の改善策

利用者、近隣住民、職員の安全を念頭におき、(1)～(3)の安全策を実施します。

(1) 過去に発生した事故の改善策：園地の特徴や危険箇所の情報を記載した独自の「公園ハザードマップ」と、これに基づく「巡視ルート図」を活用し、細やかな巡視・点検を徹底します。また、過去の点検結果や修繕履歴を参照し、事故の防止に努めます。

(2) 作業時の安全確保：園路沿いの草刈作業は、飛散防止シートなどを用いて養生を行います。また、カラーコーン・作業案内の設置などにより作業エリアを明確化し、作業員以外の立ち入りを防止します。管理用車両は、必ず通行許可証の掲示とハザードランプの点灯を行い、徐行による安全運転を徹底し、必要に応じ誘導員を配置します。

(3) 作業員の安全確保：安全帯・ヘルメットなどの安全装備を徹底し、作業員には機器の取扱いに必要な特別教育、安全衛生教育を実施します。また、塩分・水分補給や休憩など、熱中症対策を指導します。

5 清掃、修繕、施設設備改修

(1) 清掃：落葉期は重点的に園路の落ち葉清掃を実施し、ブロー使用時は、市仕様書に従うとともに、利用者・近隣住民に不快感を与えないよう配慮します。管理棟やトイレは、毎日1回の清掃を基本とし、清潔に維持します。ベンチ・テーブル・手すりなどの工作物は、汚れなどを特に注意して清掃します。

(2) 修繕：利用者が安全に利用できる施設状態の維持と、重大な施設故障などを未然に防ぎ、利用者サービスを安定して提供することを目的に、優先順位をつけた上で、利用者の安全、機能確保、経済性に配慮した効果的な修繕を行います。

(事業計画書様式4)

1 緊急時の対応、緊急時マニュアルの活用、各区防災計画との連動等

- ・災害に備え、横浜市防災計画などに基づく、「災害対応マニュアル」を整備し、災害の状況に応じた配備体制を構築します。
- ・災害以外にも、事件・事故、重大な施設故障などに備え、市、警察、消防のほか、緊急対応事業者の連絡網を整備し、迅速に対応します。

2 災害対応について

児童遊園地は災害時、広域避難場所としての役割を果たします。そのため今年度は、スタッフの啓発として、情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施するほか、情報収集・伝達手段の確保のため、災害時優先電話の配備、業務用携帯電話への市防災メールの登録、緊急地震速報自動放送システムの整備を行います。

(配備機材一覧) 職員用食糧・飲料水(3日分)、携帯トイレ、カラーコーン、土のう、発電機、懐中電灯、手回し式ラジオ、ヘルメット、自転車、救護用品、汚物処理キットなど

3 犯罪や路上駐車等の不法行為対策について

公園利用者がルールを守り、快適に過ごせる園内環境づくりに取り組みます

- ・横浜市公園条例、環境創造局「公園に関するよくある質問」の公園利用ルールに基づき、適切な利用指導を行います
- ・植物などの採取行為を確認した場合は、「横浜市公園条例」に基づき、適切に指導します。
- ・硬球のキャッチボールやゴルフの練習などの危険行為は、声がけしご遠慮いただきます。
- ・池、流れ周辺の投釣りや、柵を乗り越えての危険な利用がないよう、適切に指導します。
- ・ゴミの持ち帰り、遊具広場など子どもの利用が多い場所での受動喫煙防止、譲り合っの広場や遊具の利用に協力を求めます。

4 個人情報保護について

個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報の保護に関する条例に準じ、個人情報保護方針、個人情報保護規程を整備しています。収集した個人情報は、これらに沿って、適切に管理し、マイナンバーは、特定個人情報取扱規程に則り、適切に管理します。

全スタッフには、必ず年1回の個人情報保護研修を実施し、実績を市に報告します。なお、業務を委託する場合は、同水準の管理を徹底します。

5 障害者差別解消について

市の「障害者差別解消の推進に関する取組指針」を実践できるよう、人権啓発研修のテーマに障害者差別解消を取り入れます。また、広報研修ではカラーバリアフリー、ウェブアクセシビリティの対応方法について教育します。

6 運営目標

目標設定の視点	運営目標	目指す管理指数・数値	今後の取組(展望)
業務運営1 (達成目標、運營業務の実施方針)	植物を中心とした自然環境や花と緑にまつわる知識・文化などを守り、次世代に継承していく市の重要拠点と認識し管理運営の第一の使命と捉えています。 また、展示やイベント、体験プログラムなどの取組を通じて、幅広い世代に花と緑に対する興味や愛着を育み、「市域の花と緑を守り伝える人=守りびと」へと導きたいと考えています。	市のアンケート調査必須項目「7.公園の満足度総合満足度」全体で「満足」が75%以上、「満足」と「普通」をあわせて90%以上	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	①子ども向けの花と緑の体験プログラムの提供 ②幅広い世代に向けたプログラム ③季節に応じた企画展の開催 ④植物園ならではの大人向け講座の開催 ⑤都市緑化植物園としての機能強化 ⑥利用者が自然に親しむための環境整備 ⑦地域防災力の強化への貢献	①年間継続プログラム年11回、みどりの学校年13回②絵本の読み聞かせ年12回、園内ガイド年12回、スペシャルガイド年2回、季節のお祭り年5回③植物の面白さを伝える企画展年8回、園芸文化を伝承する企画展年5回④ガーデニング講習会年15回、大人向け講座年13回⑤出張講座年20回⑥花修景による新たな見どころづくり年1回⑦防災キャンプ年1回	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	①園長(施設長)、副園長(副施設長)、緑のスペシャリスト、園地スタッフ、清掃・運営スタッフなど、提案人員を配置 ②園長は防災士取得者、全スタッフは上級又は普通救命講習修了者を配置 ③災害対応マニュアル・緊急連絡網の配備 ④情報受伝達、非常時参集、防災訓練の実施 ⑤災害時優先電話、資機材の配備	①提案人員の配置 ②配置完了 ③配備完了 ④各1回 ⑤配備完了	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。
人材育成 研修実施効果等	①植物栽培管理に関する研修：果樹剪定ほか4種類 ②利用者対応・管理運営に関する研修：接遇ほか5種類 ③園地管理に関する研修：公園施設点検ほか3種類 ④管理職研修：パークマネジメントほか3種類	①各1回 ②各1回 ③各1回 ④各1回	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。
維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	・本様式3-2に記載した整備、点検を実施(ここでは項目のみ記載) 標本館、温室、植物ラベル、遊具、管理事務所、水飲み、手洗い、手すり、鉄柵、支柱	・本様式3-2に記載した整備、点検回数 ・維持管理基本水準書を目安に現場を高水準に維持するための管理	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。

維持管理2 (清掃、園地 維持管理、 災害対応)	・本様式3-3～5 各項目に記載した施策を実施(ここでは項目のみ記載) 3-3 (1)巡視・点検(2)植栽の維持管理 3-4 (1)過去に発生した事故の改善策(2)作業時の安全確保(3) 作業者の安全確保 3-5 (1)清掃(2)修繕	・本様式3-3～5 各項目に記載した施策の実施(回数が明記してあるものはその回数) ・維持管理基本水準書を目安に現場を高水準に維持するための管理	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。
収支 (修繕等、 収入、支出)	・提案時の収支計画に基づき、予算執行を実施	・着実な収支管理による収支均衡以上	提案時の収支計画に基づき、適切な収支管理に取り組む。
経費節減策	①電力入札等による経費節減 ②園地管理用資材、消耗品等の一括発注	①4月1日から電力供給契約を開始 ②一括発注の実施	運営目標の達成に向け、提案事項を実施する。

(事業計画書様式5)

提案事業実施計画一覧(自主事業含む)

◆こども(親子)向け教室 ※以下、継続プログラム、1回完結型プログラム

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	収穫1(タケノコ) 続	児童遊園地の竹林でタケノコの収穫体験と日本の竹文化を理解する	1	●			
2	収穫2(ウメ) 続	児童遊園地の梅林でウメの収穫体験と梅の実の利用方法について学ぶ	1	●			
3	サイエンス1(葉の仕組) 続	いろいろな植物の葉を触って違いを観察し葉の働きを理解する	1	●			
4	ハーブ 完	古くから薬草として利用されてきたハーブについて理解し、ハーブを使った製品を作る	1	●			
5	生活文化1(夏の草木染) 続	染色に使用する夏の植物について学び、草木染めを体験する	1		●		
6	食虫植物 完	特殊な形態を持つ食虫植物をルーペ等で観察して、体の仕組を理解する	1		●		
7	生活文化2(糸紡ぎ) 続	繊維として利用する植物について理解し、綿から糸を紡ぐ体験をする	1		●		
8	写真教室 完	花や緑を記録するためのカメラの使い方や撮影方法、マナーを学ぶ	1		●		
9	食文化1(どんぐり) 続	かつて食材として利用されてきたどんぐりについて学び、おだんごを作ってどんぐりの味を知る	1			●	
10	サイエンス2(種子の不思議) 続	いろいろな植物のタネを観察し、植物の生き残り戦略について理解する	1			●	
11	エジソンのマダケで点灯実験 完	発明王エジソンが電球のフィラメントに竹を使ったことから、竹炭を作って点灯実験をする	1			●	
12	収穫3(干柿づくり) 続	くだもの園で収穫した柿を使って、伝統的な保存食である干柿をつくり、日本文化を理解する	1			●	
13	食文化2(豆腐) 続	日本の伝統的な食材である豆腐づくりを通して、普段食べている大豆について学ぶ	1			●	

14	リース作り窓	園内で採取できるいろいろな形の木の实を観察し、リースを作る	1			●	
15	クリスマス飾り窓	園内で採取できる木の实や針葉樹の葉を観察し、クリスマス飾りをつくる	1			●	
16	食文化3（こんにやく）続	日本の伝統食であるこんにやくの歴史について学び、こんにやくを芋から作る	1			●	
17	生活文化3（春の草木染）続	染色に使用する春の植物について学び、草木染めを体験する	1				●

◆夏休みお助け隊

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	アイの生葉のたたき染め	夏休みの自由研究を支援するイベントとして、葉を叩いて染めつける体験を実施。	1		●		

◆みどりの学校

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	開校式と園内見学	班ごとの自己紹介を年間の流れを説明後植物園内を見学	1	●			
2	サツマイモの植え付け	圃場で農具などの使い方を学んだあと、サツマイモの茎苗を植え付ける	1	●			
3	ジャガイモの収穫・小麦の観察	圃場でジャガイモの収穫を行った後、園内の小麦、大麦、ビール麦などを観察	1	●			
4	竹は不思議・竹ぼっくりを作る	生活の中で利用される竹について学ぶ。	1		●		
5	タデアイのたたき染め	タデアイを収穫し、トートバッグにたたき染めを行う	1		●		
6	冬・春野菜の種まき	ダイコンや秋まきの野菜のタネを畑をまく	1		●		
7	カキの話・どんぐりの味見	柿展の見学後、どんぐりを使ってパンケーキ作りを行う	1			●	
8	落ち葉感謝祭に参加	笹舟レースのゲームを運営する	1			●	
9	干し柿づくり	園内で渋柿を収穫後、皮をむいて渋柿を作る	1			●	
10	焼きいも・森のモバイル作り	ドラム缶で焼き芋を焼いた後、枝や木の实を使ってモバイルを作る	1			●	
11	小豆の色はどうして赤い？お汁粉作り	春に播いた小豆を収穫後、お汁粉に調理する	1				●
12	かんきつの観察とジャム作り	園内で柑橘類を観察した後、マーマレードジャムを作る	1				●
13	ジャガイモの植え付けと閉校式	ジャガイモの種芋を畑に植え付けた後、閉校式を行う	1				●

◆幅広い世代に向けたプログラム

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	絵本の読み聞かせと自然遊び	図書コーナーの絵本の読み聞かせと園内での自然遊びを実施（対象：乳幼児の親子）	12	●	●	●	●

2	園内ガイドツアー	利用者に花や樹木の魅力、季節の見所を分かりやすく伝えるガイドを実施	12	●	●	●	●
3	企画展示スペシャルガイド	企画展開催時に、特別ガイドを実施し、ガーデンネックレス横浜をPR	2	●			
4	セルフガイドツールの充実	こども植物園内10ヶ所にQRコードを掲示し、スマートフォンでその場所のガイド(自動音声読上げ)やクイズを楽しめるようにします	随時				
5	樹名板・草名板の充実	樹名板・草名板を充実し、説明板やクイズ看板とあわせて、散策しながら学べる環境を整えます	随時				
6	季節のお祭り・イベント	季節を感じるお祭りなどを開催し、世代を問わず、自然に親しみ交流できる場を創出します	5	●	●	●	●

◆企画展示 ※以下、伝植物の不思議を伝える展示、継文化を継承する展示

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	さくらそう展継	古典園芸植物・サクラソウの品種を伝統的な手法である「桜草花壇」で展示	1	●			
2	バラ展伝	バラの歴史や利用法、バラに関する雑学などのパネル展示	1	●			
3	山野草展継	初夏の山野で見られる草花の鉢物展示 協力：横浜山草会	1	●			
4	ヤマアジサイ展	各種ヤマアジサイの鉢物展示 協力：個人名の為記載せず	1	●			
5	さつき盆栽展継	開花時期のさつき盆栽の展示 協力：横浜さつき愛好会	1	●			
6	花菖蒲展継	系統保存している山形県長井市に伝わる花菖蒲「長井古種」の展示	1	●			
7	昆虫と植物展伝	昆虫と植物のかかわり方の解説やこども植物園保存の昆虫標本の展示	1		●		
8	食虫植物展伝	さまざまな仕組で虫を捕える食虫植物を解説とともに展示	1		●		
9	アサガオ展	野生種や園芸品種まで、さまざまなアサガオの鉢植え展示	1		●		
10	植物の標本展伝	おもに横浜をテーマにした植物標本の展示 協力：横浜植物会	1		●		
11	柿展伝	柿についてのさまざまな解説や園内の柿の実物を展示	1			●	
12	菊花展継	大菊、小菊、古典菊、野生菊の鉢物展示 協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会	1			●	
13	さつき秋季展	さつき盆栽の樹形を楽しむ展示 協力：横浜さつき愛好会	1			●	
14	こども植物園写真展	園内の見どころなどを紹介する作品を展示 協力：写真サークル「どんぐり」	1			●	
15	こめ展伝	米の原料であるイネについてのパネルやいろいろな品種の標本などを展示	1			●	●
16	めでたい植物(ミニ展示)伝	正月に飾られる縁起の良い植物をその言われとともに展示	1				●

17	みどりの発見コーナー(ミニ展示) 伝	冬芽についての展示	1				●
18	横浜ばら会写真部写真展	横浜ばら会の写真部のみなさんの作品展 協力：横浜ばら会	1				●
19	ボタニカルアート教室作品展	ボタニカルアート教室受講生による作品展を開催	1				●

◆ガーデニング講習会

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	さつき盆栽作り	さつき盆栽の栽培について、実技を行いながら全3回の連続講座を実施	3	●		●	
2	ランの育て方	ランの年間管理等について学ぶ講習会を実施	1	●			
3	多肉植物の育て方	多肉植物の管理や栽培の基本を学ぶ講座を実施	1	●			
4	バラの育て方1・2	バラの剪定方法や栽培の基本を学ぶ講座を実施	2	●		●	
5	花菖蒲の育て方	花菖蒲を株分けし、育て方を学ぶ講習会を実施	1	●			
6	ミニ盆栽作り	ミニ盆栽に仕立てるための植え付け方法や維持管理を学ぶ講習会を実施	1		●		
7	果樹の剪定講座1～3	果樹の剪定や育成方法を修得する講習会を実施	3			●	
8	寄植え	季節の花材で寄せ植えを作り、長く楽しむための管理を学ぶ講座を実施	1			●	
9	サクラソウの育て方	サクラソウの管理や栽培の基本を学ぶ講座を実施	1				●
10	家庭菜園	家庭菜園に挑戦し野菜作りの基本とポイントについての講習会を実施	1				●

◆大人向け講座

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	フラワーアレンジメント1～8	季節の植物を使ったフラワーアレンジメント講座	8	●		●	●
2	かご編み講座1～3	つるや草、シュロを使ったかご編みの作成講座を実施	3		●	●	●
3	初心者向けボタニカルアート体験教室1・2	植物園内の草花を教材に、ボタニカルアートの体験教室を実施	各3		●	●	●

◆都市緑化植物園の機能強化

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	緑の相談所の充実	専門知識のある緑のスペシャリストが常駐し、窓口・電話など市民から寄せられる緑に関する様々な相談に答えます。	通年	●	●	●	●
2	緑のスペシャリストによる出張講座	多様な主体からの依頼を受け、植物の育て方や植え方、見分け方の講座、植物観察会などを行います。	20	●	●	●	●
3	花のみどころづくり	緑化植物見本園に新たな植物を導入し、花のみどころを創出します	随時				

4	体験する植物園	有用植物を植栽し、植物との関わりをガイドし、学習機能の強化を図ります	随時				
5	はまみらいの育成販売	はまみらいを育成・展示・販売することで、はまみらいの普及に努めます	随時				
6	副産物の販売	園内で利活用後の余剰収穫物を販売します。	随時				

◆利用者が自然に親しむための環境整備

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	花修景による新たなみどころづくり	児童遊園地の花修景により、横浜の里山の原風景を再現します	随時				
2	いきものサンクチュアリ	児童遊園地の池・流れを中心に、たくさんの生きものが暮らす「いきものサンクチュアリ」をつくらします	随時				

◆地域防災力の強化への貢献

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	防災キャンプ	地元自治会の防災キャンプを協働で開催し、防災意識の向上を図ります	1		●		
2	防災マップの配布	近隣区役所と協同し、防災マップを掲示・配布します。	通年	●	●	●	●

◆広報・プロモーション活動・情報提供

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	植物園の広報誌作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> ・こども植物園だより年4回 ・こども植物園情報年4回 ・こども植物園年間スケジュール年1回 	9	●	●	●	●
2	スプリングフェアへの出展	よこはま花と緑のスプリングフェアでの体験プログラムなどの実施	1	●			
3	ホームページ・SNSによる発信	イベント開催や季節のタイムリーな情報・画像などを発信	通年	●	●	●	●
4	当団体独自の広報誌への掲載	季刊誌「みどり」でのイベントなどの告知	4	●	●	●	●
5	市広報誌への掲載、記者発表	「広報よこはま」や市記者クラブへの情報提供	随時				
6	公園リーフレットの配布	施設概要やアクセスなどを掲載、市・区役所ほか関係施設で配布	通年				
7	フリーペーパーへの掲載	タウンニュース(南区・保土ケ谷区・磯子区・港南区版)を中心に見頃の花コラムを掲載	随時				

◆市民協働の取り組み

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	みどりの学校サポーター	みどりの学校に参加する小学生の活動を支えるサポーター（高校生以上）を一般公募し、みどりの学校の準備や当日のサポートを依頼	13	●	●	●	●
2	バラボランティア	バラの手入れ方法の講義受講後、こども植物園のバラ園で剪定・除草・花柄摘みなどの作業をおこない技術を磨く	24	●	●	●	●
3	宿根草ボランティア	こども植物園の花壇の基本的管理を実践しながら学ぶ	23	●	●	●	●
4	花壇ボランティア	児童遊園地の花壇の手入れをしながら花苗の特性を学ぶ	35	●	●	●	●
5	竹ボランティア	児童遊園地の竹林の管理や間伐材を使った竹細工の加工方法も身につける	20	●	●	●	●
6	園芸団体との協働	市内の各種園芸団体の協力の下、企画展やイベント出展をおこなう	10	●	●	●	●
7	近隣自治会との収穫体験実施	近隣自治会を対象に収穫体験を通じて、植物園事業について理解を促す	3	●		●	
8	近隣施設への資材・副産物の提供	園内で採取できる竹やユズなどの資材や副産物を近隣施設に提供し季節を感じてもらう	随時				

◆市民主体の活動の支援・地域人材の育成

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	ボランティア懇談会の実施	ボランティアの一年間の活動を労うとともに、各ボランティアグループの活動紹介やボランティア募集をおこないます。	1				●
2	市民主体の活動サポート	ボランティア活動が円滑に進められるよう必要な資材を提供し、万が一のための横浜市市民活動保険を申請します	随時				
3	横浜植物会による標本整理支援	植物標本の適切な維持に必要な空調設備の点検や消耗品の購入等について支援します。	随時				
4	よこはまりズム研修会の活動支援	市内で活動する保育士の任意団体のプログラム開発や研修場所の提供をします。	随時				
5	理科研究会研修受入れ	市内の理科教師が参加する研究会で、要望に応じた研修に協力します。	1		●		
6	職業体験・収穫体験の受入れ	近隣の養護学校児童・生徒のための収穫体験や市内中学校の職業体験の受入れに協力します。	随時				
7	障害者就労施設によるイベント出展の受入れ	障害者就労施設によるイベント出展により就労機会を提供	2	●		●	
8	よこはま緑の推進団体・緑の推進リーダーの育成支援	緑化推進リーダーとなる人材育成（講師や研修場所の提供）	随時				
9	博物館実習の受入れ	大学の要請に応じて、博物館実習生を受入れます	随時				

(事業計画書様式6) 業務の第三者委託一覧

業務	内容	再委託会社	回数	実施月
標本館燻蒸	標本館に収蔵されている標本の燻蒸	R1年度中に見積合わせ	1	10月
井戸水位及び揚水量測定	法令に基づく測定 測定業務 1回/月	R1年度中に見積合わせ	12	毎月
花のみどころづくり植付	花のみどころづくりの植付等	R1年度中に見積合わせ	随時	適期
運搬車点検	運搬車の点検	R1年度中に見積合わせ	随時	随時
菊鉢運搬	菊花展用菊鉢の運搬	R1年度中に見積合わせ	1	11月
自動ドア保守点検	事務所・展示研修館の自動ドアの保守点検	R1年度中に見積合わせ	3	6・11・2月
清掃(床、窓、屋外トイレ、標本館)	水準書記載の特別清掃等	R1年度中に見積合わせ	通年	通年
機械警備	建物の機械警備	R1年度中に見積合わせ	通年	通年
消防設備点検	法令に基づく定期点検 機器点検1回/6か月 総合点検 1回/年	R1年度中に見積合わせ	2 1	9, 3月 3月
園地管理	水準書記載内容の園地管理作業のうち、大規模な作業	横浜市グリーン事業協同組合	随時	通年
音声ガイドシステム	音声ガイドシステムのサーバー管理	(株)アボック社	1	4月
園内灯設備保守点検	園内灯の保守点検 巡視点検 1回/年 部品交換 随時	R1年度中に見積合わせ	1 随時	4~6月 通年
自家用電気工作物保安	自家用工作物保安 月次点検 1回/月 年次点検 1回/年	R1年度中に見積合わせ	12 1	毎月 未定
空調設備保守点検	空調の点検 冷房暖房運転前2回/年 フィルター清掃2回/年 簡易点検 4回/年	R1年度中に見積合わせ	2 2 4	未定 未定 6・9・12・ 3月
放送設備保守点検	放送設備の点検	R1年度中に見積合わせ	1	未定
遊具精密点検	水準書記載の遊具の精密点検	R1年度中に見積合わせ	1	12月
夜間緊急対応	児童遊園地の緊急時警備	R1年度中に見積合わせ	随時	通年
一般廃棄物収集・運搬・処分	一般廃棄物の収集運搬処分	R1年度中に見積合わせ	随時	通年
産業廃棄物収集・運搬・処分	産業廃棄物の収集運搬処分	R1年度中に見積合わせ	随時	通年
トイレ節水装置点検	児童遊園地のトイレの節水装置点検	R1年度中に見積合わせ	1	未定
年末年始巡回警備	年末年始の巡回警備	R1年度中に見積合わせ	2	12・1月

(事業計画書様式7)
収支予算書(指定管理料のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	提案書費目
収入の部							
指定管理料	93,673,000	0	93,673,000	0	93,673,000		
利用料金収入	0	0	0	0	0		
自主事業収入	1,986,000	0	1,986,000	0	1,986,000		
雑入	0	0	0	0	0		
その他雑入	0	0	0	0	0		
収入合計	95,659,000	0	95,659,000	0	95,659,000		

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	提案書費目
支出の部							
人件費	51,784,000	0	51,784,000	0	51,784,000		
給与・賃金	41,230,000	0	41,230,000	0	41,230,000		人件費
社会保険料	6,595,000	0	6,595,000	0	6,595,000		人件費
通勤手当	3,759,000	0	3,759,000	0	3,759,000		人件費
健康診断費	200,000	0	200,000	0	200,000		人件費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0		人件費
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0		人件費
事務費	4,971,000	0	4,971,000	0	4,971,000		
旅費	374,000	0	374,000	0	374,000		物件費
消耗品費	1,832,000	0	1,832,000	0	1,832,000		物件費
会議賄い費	16,000	0	16,000	0	16,000		物件費
印刷製本費	1,324,000	0	1,324,000	0	1,324,000		物件費
使用料及び賃借料	65,000	0	65,000	0	65,000		
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0		物件費
(その他)	65,000	0	65,000	0	65,000		物件費
備品購入費	0	0	0	0	0		物件費
図書購入費	150,000	0	150,000	0	150,000		物件費
施設責任賠償保険	49,000	0	49,000	0	49,000		物件費
職員等研修費	235,000	0	235,000	0	235,000		物件費
振込手数料	2,000	0	2,000	0	2,000		物件費
リース料	924,000	0	924,000	0	924,000		物件費
手数料	0	0	0	0	0		物件費
地域協力費	0	0	0	0	0		物件費
自主事業費	1,986,000	0	1,986,000	0	1,986,000		自主事業費
管理費総合計	58,741,000	0	58,741,000	0	58,741,000	人件費、事務費、自主事業費の合算	
光熱水費合計	5,165,000	0	5,165,000	0	5,165,000		
光熱水費(電気)	4,233,000	0	4,233,000	0	4,233,000		光熱水費
光熱水費(ガス)	25,000	0	25,000	0	25,000		光熱水費
光熱水費(水道)	454,000	0	454,000	0	454,000		光熱水費
光熱水費(下水道)	453,000	0	453,000	0	453,000		光熱水費
清掃費	250,000	0	250,000	0	250,000	うち委託料 250000円(予算)	委託料・物件費
修繕費	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000		修繕費
機械整備費	435,000	0	435,000	0	435,000	うち委託料 435000円(予算)	委託料・物件費
施設保全費	14,171,000	0	14,171,000	0	14,171,000		
空調衛生設備保守	732,000	0	732,000	0	732,000	うち委託料 732000円(予算)	委託料・物件費
消防設備保守	75,000	0	75,000	0	75,000	うち委託料 75000円(予算)	委託料・物件費
電気設備保守	773,000	0	773,000	0	773,000	うち委託料 773000円(予算)	委託料・物件費
害虫駆除清掃保守	300,000	0	300,000	0	300,000	うち委託料 300000円(予算)	委託料・物件費
その他保全費・園地管理	12,291,000	0	12,291,000	0	12,291,000	うち委託料 9189000円(予算)	委託料・物件費
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0		物件費
公租公課	4,603,000	0	4,603,000	0	4,603,000		
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0		物件費
公租公課(消費税)	4,602,000	0	4,602,000	0	4,602,000		物件費
公租公課(印紙税)	1,000	0	1,000	0	1,000		物件費
その他公租公課	0	0	0	0	0		物件費
事務経費	7,080,000	0	7,080,000	0	7,080,000		
事務経費(本部分)	7,080,000	0	7,080,000	0	7,080,000		その他の費用
事務経費(当該施設分)	0	0	0	0	0		その他の費用
その他経費(当該施設分)	2,214,000	0	2,214,000	0	2,214,000		物件費
支出合計	95,659,000	0	95,659,000	0	95,659,000		
差額	0	0	0	0	0		

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	11,475,000	0	11,475,000	0	11,475,000		
設置管理許可支出合計	9,629,000	0	9,629,000	0	9,629,000		
差額	1,846,000	0	1,846,000	0	1,846,000		